

東工大生向け
日立見学会のご案内



日立の事業分野

社会を支えるインフラを提供し、人々の生活を支える

日立は創業以来、「技術を通じて社会に貢献する」を企業理念としています。
この理念のもとで生み出された製品が、社会そして人々の生活を支えるインフラとして活用されています。
テレビ・冷蔵庫・洗濯機・携帯電話など、皆さんの目に見えるものだけが日立の製品ではありません。
日立の事業と皆さんの生活がどのように関わっているのか、少しだけですがご紹介します。

絶えることのないエネルギーの供給

原子力、風力など様々な発電方式に対応した発電機や制御システム、送電システムなどの開発を通じて『絶えることのないエネルギーの供給』に貢献しています。
今日本で使われている電気の約3分の1は日立製の発電機から生まれています。また、海外でも高い技術力を活かした環境負荷の低い発電システムなどをカナダやドイツ、南アフリカなど世界各地で提案・提供しています。



安全で快適な交通網の構築・運用

鉄道車両から運行管理・チケット発券システムまで、鉄道システムのトータルな開発によって、世界各国で『安全で快適な交通網の構築・運用』を実現しています。
日本国内の鉄道には、日立製の運行管理システムでコントロールされているものもあります。海外でも、ドバイのモノレール車両・システムの開発や、イギリスでの高速鉄道の受注なども行っています。



あたり前に信用できる情報社会

情報処理に必要なハードウェア・ソフトウェアの開発、更にはそれらをネットワークとしてつなげていくシステムの構築までを手がけ、『あたり前に信用できる情報社会』の実現に貢献しています。
日立製の24時間365日稼働しつづける情報システムやセキュリティ技術があるからこそ、安心して銀行にお金を預けられ、様々な企業活動をスムーズに行えるのです。



いつでも快適・便利な都市生活

これまで以上に高い建物が建設され、昇降機も高速、高効率が求められる中で、最先端の技術開発を行いながらニーズにあった製品を提供しています。また、IT技術を駆使したセキュリティシステム、省エネルギー事業など、人々が快適な生活を送れる都市づくりを行っています。
都市を支え、生活を創っていくことで『いつでも快適・便利な都市生活』を実現しているのです。



日立のめざす未来

情報・通信技術を融合した新たな社会インフラを構築

情報・通信技術と社会インフラ技術を融合し、安全・安心・便利・快適を人々にもたらしめます。
新たな付加価値を持った社会インフラを構築する事業を「社会イノベーション事業」と呼び、積極的に推進します。
例えば、エネルギー使用効率を最大化する「スマートグリッド」や情報技術で運行制御する「次世代交通システム」などです。

「環境の世紀」を支え、地球環境との共生を実現

21世紀を「環境の世紀」と捉え、これからの地球環境を支えて共生を実現していきます。
環境ビジョン2025を掲げ、日立グループとして2025年までに年間1億トンのCO₂排出抑制に貢献します。
環境対応製品の研究・開発や、植林などの社会活動を通じて環境ビジョンの達成をめざします。

世界中の人々に安心・快適な生活を提供

高い技術力で世界のインフラを支え、世界中の人々に安心・快適な生活を提供していきます。
イギリス、中国、カナダ、ペルー、北米、インドなど既に多くの国で、日立の技術が活躍しています。

HITACHI
Inspire the Next

Inspire the Nextは、日立のコーポレートステートメント。
常に新しいことにチャレンジし続け、次の時代に新しい風を吹き込むのだという日立の未来への強い意志、使命、そして覚悟を表したものです。
日立はこれまで、社会の変化を先取り、インフラを支えてきました。そして、これからも社会が変わるとき、変えるのは日立でありたい、それこそが日立の存在意義なのです。

日立については、Webサイト
『 <http://www.hitachi.co.jp/> 』もご覧ください。

日立の採用情報については、
『 <http://www.hitachi.co.jp/recruit/> 』
をご覧ください。

日立評論
『 <http://www.hitachihyoron.com/index.html> 』
で日立技術を公開しています。

東京工業大学生向け 日立見学会のお知らせ

日立の東工大OB・OGが東工大生の皆様だけを対象に独自に企画した見学会です。
東工大の全学科・専攻の学生の方が対象です。

最新の技術・製品を産み出す現場を見学できます

見学場所は、製品やサービスを開発している事業所です。実際の職場の雰囲気をつかむことができます。

技術分野別の7コースからお選びください

日立の事業分野から、A～Fの6つのコースで実施しますので、興味のある分野、事業所を見学できます。もちろん、複数コースへの参加も可能です。
各コースの見学内容や詳細は、6～13ページをご覧ください。

東工大のOB・OGが説明・アドバイスします

開発・研究に従事している東工大OB・OGが説明しますので、リラックスした雰囲気の中で見学していただけます。
技術や業務の全体像から詳細まで、皆さんの知りたいことを気軽に質問してください。

採用選考とは関係ありません

本見学会は、企業情報の発信を目的とした採用広報のためのものです。選考活動ではありませんので、その後の選考には影響しません。

見学会日程		2015年				
日	月	火	水	木	金	土
3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14
3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21
		Aコース	GFコース	BCコース		
3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28
		Dコース				
		Eコース				
3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4

- A 通信・知財・ソフトウェア・研究所(ITシステム, 映像情報・組込みシステム, モノづくり)コース
- B コンピュータ・ストレージコース
- C 中央研究所(国分寺サイト)(エレクトロニクス、ライフサイエンス研究, 情報・通信)コース
- D 電力・エネルギーコース
- E 交通・都市システム・計測・メカトロニクスコース
- F パワエレ・制御・情報コース
- G 自動車(神奈川地区)コース
- ITシステムエンジニアコース

※ 各コースとも参考URLを掲載しておりますが、情報更新に伴いリンク先が変わる場合がございます。
その場合はお手数ですが『 <http://www.hitachi.co.jp/recruit/> 』より該当の事業所に関する最新情報を入手下さい。

お問合せ・申し込み方法について

お問合せ先

見学会全般に関するお問い合わせは、右記担当者宛にEmailで
お願いします。大学のメールアドレスからお問合せください。

今沢 慶 (横浜研究所 kei.imazawa.vb@hitachi.com)

申し込み方法

各コースの申し込み先(titech-tour-*@rdgml.intra.hitachi.co.jp (*はA～Gいずれか))に、以下の情報をEmailにてご連絡ください。

タイトル	見学会申し込み
本文	氏名(ふりがな)、1泊コースの方は性別 学科 or 専攻、研究室名 学年(申し込み時点での学年を記入) 大学メールアドレス (一般プロバイダ・フリーメール・携帯アドレスはご遠慮ください) 連絡先(TEL) 緊急時の連絡先(TEL) 食べ物、飲み物の制約 コース名[アルファベットを記入] ※A,Eコースの場合、サブコース名(A1～A3, E1～E3 (1日目), E4～E5 (2日目))を記入ください 見学希望分野[フリーワード(任意)] ※任意です。個別分野の0B・0Gの参加調整に活用します。

お願い、ご注意

- ・ 申込受付開始日を2015年3月9日とさせていただきます。
- ・ 大学のメールアドレスからの申込をお願いします。
一般プロバイダ等のメールアドレスには、セキュリティ上、日
立からの連絡送信ができない場合があります。
- ・ 各コースとも多くの参加者に対応できる体制をとっております
が、申し込み多数の場合、締切を早める可能性があります。
お早めに参加申し込みをお願いします。

- A 通信・知財・ソフトウェア・研究所(ITシステム, 映像情報・組込みシステム,
モノづくり)コース
- B コンピュータ・ストレージコース
- C 中央研究所(国分寺サイト)(エレクトロニクス、ライフサイエンス研究,
情報・通信)コース
- D 電力・エネルギーコース
- E 交通・都市システム・計測・メカトロニクスコース
- F パワエレ・制御・情報コース
- G 自動車(神奈川地区)コース
- ITシステムエンジニアコース

個人情報について お申込にあたってご連絡頂いた個人情報は、本見学会に関する参加者管理を含む採用業務に関して利用致します。
本見学会や採用業務遂行にあたり採用担当者や採用関係者(当社在籍の大学0B/0G)から情報提供等の連絡を取らせて頂く場合があります。

A

通信・知財・ソフトウェア・研究所

(ITシステム, 映像情報・組込みシステム, モノづくり)

【見学地区: 神奈川県横浜市】

コース

開催日
3月17日(火)

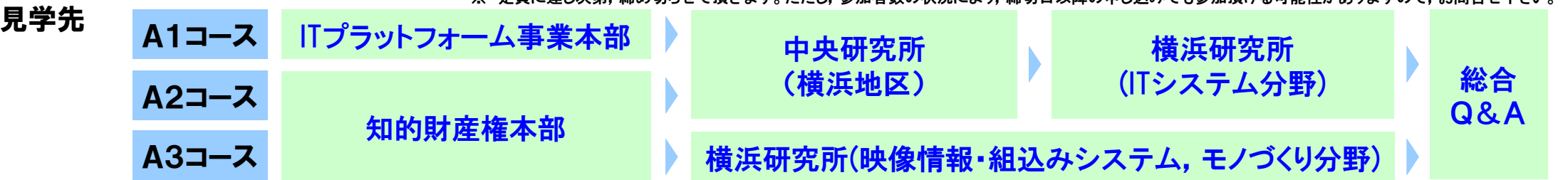
申込締切
3月10日(火)

集合 12:00 現地集合
(最寄り駅: JR戸塚駅)

解散 20:00 現地解散

申し込み/問合せ先
(申し込み開始: 3月9日朝9時)
李 ジャア, 上 蘭 巧
titech-tour-A@rdgml.intra.hitachi.co.jp

※ 定員に達し次第、締め切らせて頂きます。ただし、参加者数の状況により、締切日以降の申し込みでも参加頂ける可能性がありますので、お問合せ下さい。



見学内容

※見学は下記の一部テーマです。見学できないテーマも質疑の時間にて概要説明できる場合があります。

- ### ITプラットフォーム事業本部

<http://www.hitachi.co.jp/Div/soft/index.html>

大規模ITシステムを支えるインフラとしてのソフトウェア, 例えば, 統合運用管理システム, データベース, グループウェア, ストレージ管理システム等, 多くのユーザに利用される汎用製品の紹介をします。

中央研究所(横浜地区)

<http://www.hitachi.co.jp/rd/crl/>

横浜地区では情報通信分野のうち, 社会を支えるICTプラットフォームの両輪である計算機プラットフォームと通信プラットフォームを研究しています。

横浜研究所(ITシステム分野)

http://www.hitachi.co.jp/rd/yrl/recruit_top.html

ITシステム・サービス・プラットフォームの研究
【システム・サービス】鉄道・電力・金融・公共などの事業分野で、社会を支えているシステム・サービスを対象とした、数理技術、セキュリティ、システム生産技術などの研究開発。
【ITプラットフォーム】ICTプラットフォーム, 基盤ソフト技術, ビッグデータ処理基盤, クラウドシステム, ストレージソリューション。

知的財産権本部

発明の発掘, 特許庁への対応, 他社との交渉など, グローバル競争を勝ち抜く知財力構築をめざし, 知的財産権本部が行っている活動をご紹介します。

横浜研究所(映像情報・組込みシステム, モノづくり分野)

http://www.hitachi.co.jp/rd/yrl/recruit_top.html

映像・情報機器, システムの新技術の研究, モノづくり技術の研究
【組込みシステム応用製品研究】車載情報システム技術・ユーザインタラクション技術・セキュリティデバイス技術
【組込みソフト開発技術】モデルベース開発技法・テスト設計・モデル検査
【撮像・高画質化研究】デジタル映像・信号処理技術
【光応用システム研究】次世代光ストレージ技術・光学シミュレーション技術
【モノづくり】深紫外光・電子顕微鏡・原子間力顕微鏡を用いたナノメータ計測, 超高速画像処理, 画像認識技術, エレクトロニクス・バイオ分野の薄膜微量分析・表面修飾, 車載用電子機器等の電子部品実装, 高周波回路技術, レアメタル技術, リチウムイオン電池
【生産システム】家電・産業機器・電力・交通など幅広い日立製品を対象としたSupply Chain Management・生産計画・品質管理の統計数理技術, 設計段階の3次元CAD情報を活用した生産性・信頼性・環境対応の定量評価技術, 機械加工・塑性加工技術

申し込みの際, A1~A3のいずれかをお選びください

B

コンピュータ・ストレージ コース

【見学地区：神奈川県秦野市、小田原市】

開催日 3月19日(木)	申込締切 3月12日(木)	集合 9:00 東京駅/鍛冶橋駐車場 解散 21:00 東京駅前	申し込み／問合せ先 (申し込み開始：3月9日朝9時) 水野 陽一 titech-tour-B@rdgml.intra.hitachi.co.jp
-----------------	------------------	-------------------------------------	--

※ 定員に達し次第、締め切らせて頂きます。ただし、参加者数の状況により締切日以降の申し込みでも参加頂ける可能性がありますので、お問合せ下さい。
※ 見学中の移動手段は当方にて手配します。

見学先



見学内容

ITプラットフォーム事業本部(サーバ・ストレージ部門)

神奈川事業所(サーバ)

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/portal/index.html>

高集積/高性能なブレードサーバ「BladeSymphony」は、ミッションクリティカル分野で多くの実績を持っており、ハイエンドブレードサーバではトップシェアを誇っています。また、日立は日本のサーバベンダで唯一、サーバ仮想化の開発技術を持っており、その技術を注ぎ込んだサーバ仮想化機構「Virtage」は、業界で唯一のx86サーバ向け独自サーバ仮想化製品です。その他、企業向けにセキュリティを強化したシンクライアント専用PCなどの、高信頼・高性能を特徴としたサーバ製品群が24時間365日止まらない情報インフラを支えています。

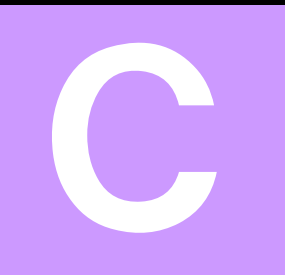
- 日立のコンピュータプラットフォーム主力製品の開発・設計・製造
 - ・x86サーバ(BladeSymphony、HA8000)
 - ・シンクライアント(クライアントブレード、セキュリティPC)
 - ・メインフレーム(AP8800E、AP7000) ・UNIXサーバ(EP8000、HA8500)
 - ・HPC(SR16000)
- 上記製品向けの最先端技術によるシステム・ハードウェア・ソフトウェア開発
 - ・マーケティング・製品企画
 - ・ハードウェア開発(最先端LSI/ボード/パッケージ/実装/電源の設計)
 - ・ソフトウェア開発(仮想化機構ソフトウェア、ファームウェア)

小田原事業所(ストレージ)

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/index.html>

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/unified/index.html>

- ☆国内シェア18年連続No.1 (外付型ディスクストレージシステム)
ストレージのリーディングカンパニーで働いてみませんか。
- ディスクストレージシステムの企画・設計・開発
 - エンタープライズ向け (Hitachi Virtual Storage Platform)
 - ミッドレンジ向け (Hitachi Unified Storage)
 - ファイルストレージ (Hitachi Virtual File Platform)
 - ハードウェア (大規模LSI設計、実装設計)
 - ソフトウェア (組み込みプログラム開発、ドライバ・アプリケーション開発)
- 統合プラットフォーム (Hitachi Unified Compute Platform) 企画・設計・開発
- 国内外の各ベンダとのアライアンス・共同開発 (API・各種I/F・ツール)
 - Microsoft/Oracle/Symantec/VM Ware他
- プラットフォームソリューションビジネスの提供 (東京・大森地区)
プラットフォームサービスの商品企画/販売企画・開発・提供
プラットフォームサービスのグローバルオペレーション



中央研究所(国分寺サイト)
(エレクトロニクス、ライフサイエンス研究, 情報・通信) コース 【見学地区:東京都国分寺市】

開催日 3月19日(木)	申込締切 3月13日(金)	集合 14:00 JR国分寺駅 解散 20:00 現地解散	申し込み／問合せ先 (申し込み開始:3月9日朝9時) 竹村 理一郎 titech-tour-C@rdgml.intra.hitachi.co.jp
-----------------	------------------	----------------------------------	---

見学先 ※ 定員に達し次第, 締め切らせて頂きます。
また, 参加者数の状況により, 締切日以降の申し込みでも参加頂ける可能性がありますので, お問い合わせ下さい。

Cコース

中央研究所(国分寺サイト)

見学内容

中央研究所 <http://www.hitachi.co.jp/rd/crl/>

中央研究所は、「10年、20年後を目標とする研究を行うとともに、今日の課題にも取り組む」という小平創業社長の理念のもと、1942年に設立されました。以来、透過型電子顕微鏡に始まる計測技術、トランジスタ研究に始まるエレクトロニクス技術、汎用コンピュータ開発に始まる情報処理技術の3つのコア技術を、時代のニーズに合わせて融合、発展させ、エネルギー、半導体、コンピュータ、通信など大型事業の創出に貢献してきました。本見学会では、中央研究所(国分寺サイト)のエレクトロニクス、ライフサイエンス、計測分野の研究テーマを中心に紹介します。研究職にご興味のある方の多数のご参加をお待ちしております。

主な研究分野(下線は本コースで紹介する予定のテーマ)

【情報・通信分野】
社会情報処理(社会現象定量化・可視化技術、経営分析技術)、知能情報処理(画像検索、音響・信号処理)、ビッグデータ処理プラットフォーム、通信ネットワーク

【エレクトロニクス分野】
エネルギーエレクトロニクス(エネルギー創生・変換・蓄積・制御デバイスと応用)、情報エレクトロニクス(無線・光通信デバイス・モジュール技術、MEMS、センサ応用技術)、先端デバイス製造検査(プラズマ・電子線応用技術、電子顕微鏡技術)

【ライフサイエンス分野】
画像診断システム(超音波診断装置、MRI)、バイオシステム(バイオ計測、バイオデータ情報処理技術)、ヘルスケア情報処理、細胞プロセッシング、単一細胞遺伝子発現解析、脳科学応用

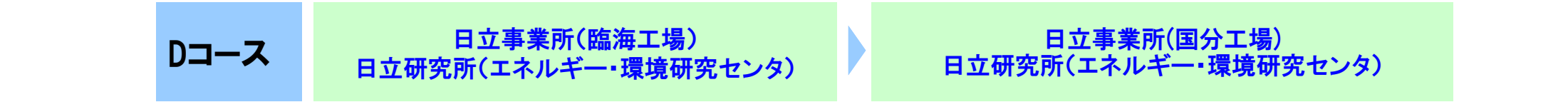
【見学地区：茨城県日立市】

D

電力・エネルギー コース

開催日 3月24日(火)	申込締切 3月17日(火)	集合 3/24 8:00 東京駅/鍛冶橋駐車場 解散 3/24 20:00 東京駅	申し込み／問合せ先 (申し込み開始:3月9日朝9時) 井上 重徳, 青木 学 titech-tour-D@rdgml.intra.hitachi.co.jp
-----------------	------------------	---	--

見学先 ※ 定員に達し次第、締め切らせて頂きます。ただし、バスの空座席によっては締切日以降の申し込みでも参加頂ける可能性がありますので、お問合せ下さい。
※ 申し込み開始日時(右上に記載)後に申し込み下さい。 ※ 見学中の移動手段は当方にて手配します。



見学内容

日立事業所

水力事業部^{注1}, 原子力事業部^{注1}, 電機システム事業部, 医療核装置生産本部, 国分生産本部

日立事業所は日立の発祥工場として数々の製品を世の中に送り出し、現在5つの工場(海岸・山手・臨海・埠頭・国分工場)があります。各事業部の設計/製造部には優秀なエンジニアや技能五輪のメダル取得者が多数います。また、大運動会、課対抗行事(野球、綱引き etc.)などの仕事以外の活動も盛んです。

見学会では各工場にて以下の製造・試験設備を見学して頂きます。

【臨海工場】 <http://www.hitachi-hgne.co.jp/>
原子力機器

【国分工場】 <http://www.hitachi.co.jp/products/power/TandD/index.html>
超高圧・大電流ガス絶縁開閉装置, 大容量変圧器, 高圧受電盤他

注1 日立事業所の水力事業部と原子力事業部はそれぞれ、日立三菱水力(株)、日立GEニュークリア・エナジー(株)のことで、それぞれの会社に入社後出向となります。

日立研究所 (エネルギー・環境研究センタ)

<http://www.hitachi.co.jp/rd/hrl/>

日立研究所は、材料からシステムまで広範な研究分野を擁する総合研究所です。

本コースでは、環境負荷低減に向けた電力・エネルギーシステムやそれらを支えるコンポーネントに関する研究をご紹介します。

日立グループは2025年までに1億トンのCO₂削減に貢献することを約束しています。エネルギー・環境研究センタはその中心的な役割を担っており、この課題を解決するため日々知恵を出し合って研究に取り組んでいます。見学会では主にエネルギーシステム(原子力発電・送変電)の研究設備をご紹介します。

【見学地区：茨城県ひたちなか市】

(1日目) 交通・都市システム・計測・メカトロニクス コース

開催日
3月24日(火),25(水)

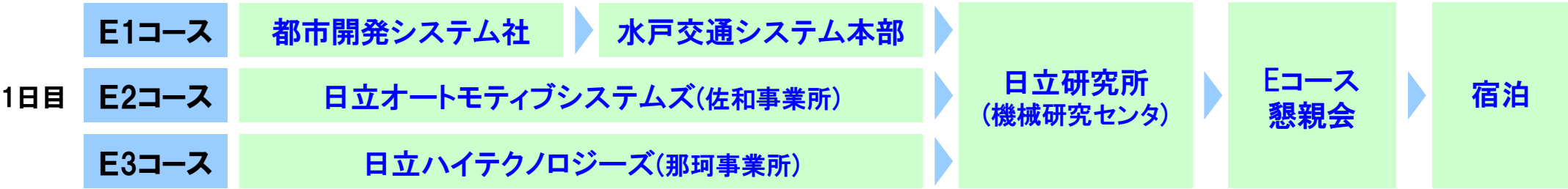
申込締切
3月17日(火)

集合 3/24 9:00
東京駅/鍛冶橋駐車場
解散 3/25 20:00 東京駅
1泊2日コースです

申し込み／問合せ先
(申し込み開始:3月9日朝9時)
荒川 貴文
titech-tour-E@rdgml.intra.hitachi.co.jp

見学先

※ 定員に達し次第、締め切らせて頂きます。ただし、バスの空座席とホテルの空室状況によっては締切日以降の申し込みでも参加頂ける可能性がありますので、お問合せ下さい。
※ 申し込み開始日時(右上に記載)後に申し込み下さい。 ※ 見学中の移動手段、ホテルは当方にて手配します。



見学内容

都市開発システム社 <http://www.hitachi.co.jp/products/urban/>
私達は、昇降機事業を中心に、お客様の建物の付加価値を高める事業を展開しています。昇降機事業では、エレベーター、エスカレーターの研究開発をグローバルスケールで展開し、「安心・快適・便利」な魅力ある街作りに貢献しています。見学会ではエレベーター研究棟の見学を通じ、製品の紹介をします。
※但し、設計、製造、販売部門は(株)日立ビルシステムへ移管

日立オートモティブシステムズ <http://www.hitachi-automotive.co.jp/> 厚木地区は
Fコース
環境・安全・情報をキーワードに自動車の電子化・電動化をリードするシステム開発を推進しています。佐和事業所ではHEV/PHEV/EV用モーター・インバータ・バッテリー、エンジン制御機器、ステレオカメラなど、最先端の電子制御機器・システムを開発・製造しています。見学会では製造現場の見学や試験現場(テストコース試乗)をご紹介します。

日立研究所(機械研究センタ) <http://www.hitachi.co.jp/rd/hrl/>
機械研究センタは日立研究所を構成するセンタのひとつであり、日立グループ全体の機械系技術・製品開発の中核を担う、機械系全てを網羅する専門家集団です。最先端シミュレーション・超精密計測技術に代表される種々の機械系基盤技術を高度に駆使し、知恵を絞り合って融合させ、日々新たな価値の創造に取り組んでいます。見学会では、メカトロニクス、省エネ家電・空調、静音化技術、先端シミュレーションなどの多様な分野における最新の研究開発事例の数々をご紹介します。

水戸交通システム本部 <http://www.hitachi-rail.com/index.html> (英語)
日立は鉄道の総合システムインテグレーターとして、重要な社会インフラである鉄道の安全・安心・安定輸送に貢献しています。水戸交通システム本部では電車駆動用制御装置や列車運行管理・信号保安システムなどを開発・製造しており、さまざまな顧客に納入しています。見学会では製造・試験現場にて実際の製品を見ながらご紹介いたします。

日立ハイテクノロジーズ <http://www.hitachi-hitec.com/>
私達は、電子線・レーザー・真空・電気化学・光学・メカトロ・画像処理等の高い技術をもとに、次世代エレクトロニクス・ライフサイエンス向けの最先端計測装置を開発・販売しています。近年では、各社と協力し小惑星探査機はやぶさのカプセルの解析も行いました。見学会では、電子顕微鏡や血液分析装置の製造現場見学・OBとの懇談が行えます。

申し込みの際、1日目(E1~3)、2日目(E4, E5)から、それぞれ1コースずつお選びください。

【見学地区：茨城県日立市】

(2日目) パワエレ・制御・情報 コース

開催日
3月24日(火),25(水)

申込締切
3月17日(火)

集合 3/24 9:00
東京駅/鍛冶橋駐車場
解散 3/25 20:00 東京駅
1泊2日コースです

申し込み／問合せ先
(申し込み開始:3月9日朝9時)
荒川 貴文
titech-tour-E@rdgml.intra.hitachi.co.jp

見学先

※ 定員に達し次第、締め切らせて頂きます。ただし、バスの空座席とホテルの空室状況によっては締切日以降の申し込みでも参加頂ける可能性がありますので、お問合せ下さい。
※ 申し込み開始日時(右上に記載)後に申し込み下さい。 ※ 見学中の移動手段、ホテルは当方にて手配します。

2日目

E4コース(パワエレ)

インフラシステム社(大みか地区)

日立研究所
(情報制御研究センタ, エネルギー・環境研究センタ)

E5コース(制御・情報)

インフラシステム社(大みか地区)

日立研究所
(情報制御研究センタ)

見学内容

※E4・E5とも事業所は同じですが、見学先(製品分野)が異なります。

インフラシステム社(大みか地区)

<http://www.hitachi.co.jp/Div/omika/>

インフラシステム社では、私たちの生活を支える社会インフラ、生活インフラ、情報インフラなど、情報と制御を融合した高度な信頼性が求められる大規模制御システムを開発・製造し、世界に数多く送り出しています。

・ E4コース(パワエレ)

パワーエレクトロニクスはCO₂削減のキー技術として注目されています。インフラシステム社では鉄鋼圧延用モータや鉱山ダンプトラック等の電動ドライブシステム、風力・太陽光発電用の電力変換器等の新エネルギー機器、更にUPSなど幅広い分野のパワエレ製品を開発・製造しております。見学会では製造・試験現場にて実際の製品を見ながらご紹介します。

・ E5コース(制御・情報)

電力の安定供給を担う電力制御システム、原子力などの発電プラント制御システム、高速・高密度運行を管理する新幹線・在来線運行監視システム、健全な水環境の確保を担う上下水道制御システム、高性能・省資源・省エネ鉄鋼システムなど様々なシステムを開発・製造しています。見学会では製造・試験現場にて実際の製品を見ながらご紹介します。

日立研究所(情報制御研究センタ, エネルギー・環境研究センタ)

<http://www.hitachi.co.jp/rd/hr/>

日立研究所は、材料からシステムまで広範な研究分野を擁する総合研究所です。本コースでは、環境負荷低減に向けた様々な規模の情報・制御システムやそれらを支えるコンポーネントに関する研究内容を以下の2コースに分けてご紹介します。

・ E4コース(パワエレ)

レアアースレス高効率モータ、冷却性能を向上したHEV用インバータ、SiCダイオードを適用した鉄道用低損失パワーモジュール、サーバ用電源、電池コントローラなどに関する研究開発や、電力・産業向け高電圧パワエレ機器の実験室をご紹介します。

・ E5コース(制御・情報)

スマートグリッド向け電力系統制御システム、自動車向けエンジン燃焼・排気制御技術、走行制御・自動ブレーキシステム、およびこれらの基盤となる組込みシステムや高信頼コントローラなどの研究開発についてご紹介します。

申し込みの際、1日目(E1~3)、2日目(E4, E5)から、それぞれ1コースずつお選びください。

F

自動車(神奈川県厚木市※1)コース

開催日
3月18日(水)

申込締切 ※2
3月13日(金)

3/18集合 12:45 小田急線 本厚木駅
解散 19:00 小田急線 本厚木駅

【見学地区:神奈川県厚木市】

※1 自動車茨城地区はEコース

申し込み/問合せ先
(申し込み開始:3月9日朝9時)
湯野 治
titech-tour-F@rdgml.intra.hitachi.co.jp

見学先

Fコース

日立オートモティブシステムズ(厚木事業所)

※2 締切日以降の申し込みでも
参加頂ける可能性があります。
お問合せ下さい。



見学内容

日立オートモティブシステムズ <http://www.hitachi-automotive.co.jp/index.html>

日立オートモティブシステムズでは、自動車の電動化・エレクトロニクス化をキーワードに、日立グループの幅広い技術力とモノづくりの豊富な経験を自動車関連技術に集結し、「環境」、「安全」、「情報」の3分野で4つのシステム事業の技術開発に重点を置いて開発、製造を行っています。

【厚木事業所】

見学する厚木事業所では燃料エネルギーの損失低減によるエンジンの高効率化(低燃費・高出力・低排気)、環境負荷低減を目的としたエンジンマネジメントシステム及び、電動パワーステアリングシステムや電動ブレーキシステムなどの走行制御システムの開発を行っています
実際のものづくりの現場や開発のための実験設備などを見学いただきます

【厚木製品】 アンチロックブレーキシステム(ABS)、可変動弁(VEL・VTC)、高性能ピストン等



他事業所の紹介(各事業所の東工大OBもツアーに同行するためご質問等対応致します)

【相模事業所】 コンベンショナルなショックアブソーバはじめ、セミアクティブサスペンションなどの自動車の乗り心地・操縦安定性を高める高機能な電制サスペンションシステムの開発・製造を行っています

【相模製品】 ショックアブソーバ、セミアクティブサスペンション等



【山梨事業所】 「見る・感じる」「考える」能力と「走る」「曲がる」「止まる」機能が協調した、電動型制御ブレーキを代表とする走行制御システム(ブレーキシステム)の開発・製造を行っています

【山梨製品】 四輪車、二輪車用ディスクブレーキ、電動型制御ブレーキシステム(e-ACT)等





ITシステムエンジニア コース

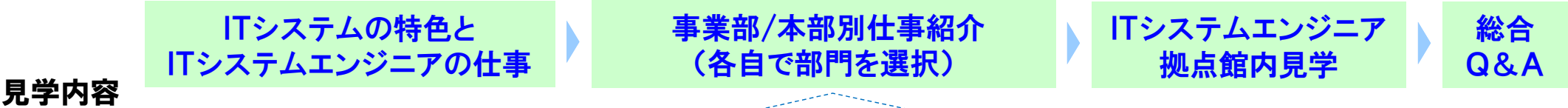
【見学地区：神奈川県川崎市】

開催日 3月18日(水)	申込締切 3月13日(金)※	集合 13:30 日立システムプラザ新川崎 解散 20:00 現地解散	申し込み／問合せ先 (申し込み開始：3月9日朝9時) 本山 真也、足達 直 titech-tour-G@rdgml.intra.hitachi.co.jp
-----------------	-------------------	--	---

※ 締切日以降の申し込みでも参加可能な場合がありますのでお問い合わせください。

見学先
所在地： <http://sasp.mapion.co.jp/b/hitachi/info/BA613592/>

ITシステムエンジニアの開発拠点 日立システムプラザ新川崎 にて、下記部門の仕事を詳しく紹介します。



< お客様対応ITシステムエンジニア >

お客様の業務に精通し、社会基盤やお客様の基幹業務を支える、大規模・高信頼性のITシステム(ビジネス系、事務処理系)を実現します。お客様のニーズを満たす最適な提案と設計、大規模開発プロジェクトの円滑な運営など、高い技術力と人間力が求められる仕事です。

～ 主な部門 ～

- ・金融 銀行/証券/取引所/生保/損保
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/index.html>
- ・産業流通 製造/流通/サービス/運輸
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/index.html>
- ・公共 官公庁/自治体/学術/医療
<http://www.hitachi.co.jp/Div/jkk/kanko/index.html>
<http://www.hitachi.co.jp/Div/jkk/jichitai/index.html>
- ・インフラシステム 電力/ガス/鉄道
<http://www.hitachi.co.jp/products/infrastructure/index.html>
- ・通信キャリア http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/product/solution.html#s_2
- ・社内/日立グループ

< スペシャリストITシステムエンジニア >

特定の技術分野に精通し、お客様対応エンジニアと共にシステム開発を行います。汎用製品(パッケージ)やツールの開発、業界標準・規格策定に参画する機会もある等、ITシステムの技術面を支える重要な仕事です。

～ 主な部門 ～

- ・業務アプリケーション開発
- ・高信頼クラウド/データセンタ
- ・プロジェクトマネジメント/ソフトウェア生産技術
- ・ITシステム品質保証